

News Release

平成23年3月1日

NTT東日本群馬支店

環境保護対策としての電気自動車(光ハッピータウン号)の導入について

NTT東日本群馬支店(群馬県高崎市高松町3番地 支店長 五十嵐 克彦)では、環境負荷低減に向けたさまざまな活動に取り組んでいるところですが、その主要行動目標(基本プログラム)のひとつである温暖化対策として、業務用車両のCo2排出量の削減に取り組んでおります。

その環境対策の一環として、Co2を全く排出しない電気自動車(日産リーフ)を配備いたしました。

1. 導入年月日

平成23年2月22日 1台導入

2. 内容

NTT東日本群馬支店では、事業活動に伴って消費する資源やエネルギーを削減するため、「温暖化対策」「紙資源対策」「廃棄物対策」を地球環境に与える影響が特に大きい要素としてとらえ、主要行動計画目標(基本プログラム)として実行すべき管理項目を設定して中期的視点から環境負荷の低減に努めています。

その中の温暖化対策の一環として、平成21年度より業務用車両のCo2排出量の削減を掲げ、業務用車両のエコ化(※1)を推進しており、全車両410台のうち、今年度末には90%弱の進捗で平成23年度末までに100%化を目指しています。

今般、その取り組みの一環として電気自動車を導入しました。

(※1)保有台数の見直しを図り、低公害車100%化(工専用特殊車両を除く)

3. 効果

(1)地球環境にやさしく排出ガスはゼロ

走行中は大気汚染の原因となる二酸化炭素(CO2)や大気汚染物質(NOx)等の有害な排出ガスを全く出しません。また、ガソリン自動車と異なり、燃焼・爆発させないため、走行中とても静かです。

(2)省エネ効果

電気代はガソリン代(燃料費)の1/3~1/9、減速時にエネルギーを回収できるため、エネルギー効率はガソリン自動車の3倍近くになります。

- ・1日の平均走行距離が30kmだとすると年間で約1万kmとなり、年間の電気代は約2万円弱。
- ・ガソリン自動車と比較すると年間で約11万円以上の燃料費(電気代)の節減、CO2については2.04キログラムの削減量となり、杉の木約140本分(*)が期待できます。 (*)数値については参考値

4. その他

導入した電気自動車は、NTT東日本群馬支店が地元企業とタイアップして進めている「光 Gunma Happy タウン」(※2)の業務に使用することから、「光ハッピータウン号」と命名し、車体にも「光 Gunma Happy タウン」のペイン

トを施しています。

NTT群馬としての「光で地域社会へ貢献」と「環境でも貢献」に向け、群馬県内を走り回ります。

(※2) 「光 Gunma Happy タウン」は、光 Gunma Happy タウンの WEB サイトに掲載してある提携店でお食事やショッピングの際に、同サイトから取得できる専用のパスポートを提示することで割引等やその他特典を受けることができるプログラムです。

提携店はフレッツ光メンバーズクラブの WEB サイトや、NTT 東日本が作成するリーフレットに無料で掲載することができます。

「光 Gunma Happy タウン」サイト (<https://flets-members.jp/pub/pages/gunma/>)

今後もNTT 東日本群馬支店では、“すべての力を「お客様の満足」のために、そして「光」により地域社会に貢献”を合言葉に、常に安心と安全をベースとした通信サービスをご提供するとともに、企業市民として環境に配慮した業務運営に努めてまいります。

お問い合わせ先

NTT東日本—群馬

企画総務部 総務広報担当

027-326-0131